

平成23年第4回定例市会

第4回定例市会は平成23年11月28日から12月6日までの会期で開かれ、住宅用太陽光発電システム設置補助金の追加や、神戸経済の活性化として中小企業助成制度拡充などを含む平成23年度一般会計補正予算案などを可決承認しました。12月5日、6日には各会派の代表が「議案外質問」を行い、民主党からは大寺まり子議員と平木ひろみ議員が現下の課題や来年度予算を見据えて市長、副市長に質しました。

大寺 まり子 議員(兵庫区選出)

1. ワーク・ライフ・バランスについて

Q 育児休業や介護休暇を取得しやすい労働環境づくりなどワーク・ライフ・バランスの正しい理解と実践に向けた普及啓発を。

A 「こうべ男女いきいき事業所」として平成23年度までに50事業所を表彰し、先進的な取り組みを紹介するとともに、企業経営者や人事担当者を対象に企業セミナーの開催や事業所の訪問、DMなどで啓発に努める。

Q 仕事と家庭の両立支援等を推進するために、育児・介護応援企業に対して、市の一般入札時に優遇措置がとられるようになったがその広報は?

A 広く市内企業の取り組みを促進するため各局で実施している指定管理者選定やその他、総合評価による事業者選定などにおいて導入を検討する。



2. NPO支援ソーシャルビジネスの推進について

Q 「新しい公共」の担い手として地域社会の雇用創造や地域の活性化に期待されるソーシャルビジネスを推進していくた

めに積極的な支援を。

A 「神戸市民活動マッチングシステム」で、ソーシャルビジネスを行う団体とそれを支援したい人とのマッチングの立ち上げを準備、支援策をまとめたパンフレットの作成、将来性が高い事業や団体への財政支援や専門家相談、PR支援などビジネスに必要な環境づくりを目指す。

3. 「平清盛」を活用した観光振興について

Q 平家ゆかりの地をもつ都市と連携した観光メニューの創設など他都市へのPRと観光ガイドボランティアの育成、案内標示の統一化、全市版マップの作成など「おもてなし」の充実を。

A 他都市との連携についても、話題づくりなど情報発信力の強化及び全国的な誘客策に努める。また、おもてなしについては、歴史ガイドツアーや観光ガイドブックにより、観光客に「平清盛」も含めた神戸の様々な魅力を楽しんでいただくことを考えている。



その他、「食育」について:子どもたちを取り巻く大人や若い世代に「食の大切さ」など「食育」の普及啓発を図っていただくよう要望しました。

平木 ひろみ 議員(中央区選出)

1. 地域主権と大都市制度のあり方について

Q 大都市が基礎自治体として住民に身近な施策に柔軟に対応するとともに、日本の成長を牽引できる大都市の機能高度化を視野に入れた新しい地方自治制度が求められているが、大都市制度改革として市長の提案している「特別自治市」をどのように進め、地域主権を推進するのか?



3. 滞在型観光の推進について

Q フラワーロードを「光の都」神戸の中心となる「光のロード」として拡充させる取り組みを進め、「夜の楽しみこそが神戸の魅力」と思わせるような展開が必要。夜間景観形成に取り組む推進組織の進捗状況はどうか?

A 今月中に夜間景観形成推進委員会を立ち上げ、今年度中に推進案をまとめたい。

Q 摩耶ビューラインの存続を受けて、六甲・摩耶の観光資源を最大限に活用し、一体的な賑わいづくりを展開することで滞在型観光の推進を図るべきではないか?

A 摩耶ビューラインまでのきめ細かいアクセスと山上の更なる回遊性の向上が重要な課題と認識し、多様な視点で観光資源の活性化を含め、一体的な検討を進める。

4. 小学校外国語活動について

Q 地域でES(イングリッシュサポーター)人材を発掘し、その人材を全市で一括登録する制度を作り、レベルチェックや研修を実施して登録し、必要に応じて小学校にESを派遣し、信頼できる人材を育てるなど包括的に整備してはどうか?

A 経験豊富なESをサポートリーダーと位置づけ、教育委員会と協力して模範授業、授業協力の留意点などを含めて研修を実施する。担当地域を持ち、他のESに対しての助言なども行う制度を整備し、ES全体のレベルを確保したい。



大寺まり子議員、平木ひろみ議員のインターネット録画放送は
民主党神戸市会議員団ホームページからご覧いただけます。

民主党神戸市会議員団

検索